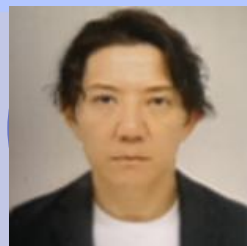




株式会社大和建設（本社）

- 本社所在地：奈良県吉野郡大淀町
- 事業概要：土木工事業・建設工事業・塗装工事業・解体工事業・仮設足場工事・配管更生・調査工事・運送業及び産業廃棄物収集運搬業
- 常時使用する従業員：29名
（2026年7月時点）
- 現在の売上高：14億円
（2025年7月期）
- 法人番号：6150001016958
- Web： <https://daiwaconst.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
清水 巖一

「ONLY ONEを目指し、挑戦し続ける－未来へつなぐ街づくり」

私たち大和建設は、「諦めなければ失敗は無い」という信念のもと、一つひとつの仕事に真摯に向き合い、自社施工・自社管理による高品質のものづくりを追求してきました。現場で培った技術と経験を、新たな技術やサービスへ進化させ、「大和建設だからこそできる仕事」を増やし、売上高100億円と未来へつながる街づくりに挑戦します。100億企業への成長を通じて、設備・技術・人材投資を進め、社員が誇りを持って働き、成長できる環境と待遇の向上につなげます。雇用の拡大と次世代を担う人材の育成にも取り組みます。「ONLY ONE」を目指して挑戦を続け、お客様、社員、地域社会とともに成長し、豊かな未来へつながる街づくりを実現することを宣言します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年に売上高100億円を達成する。
主力である土木工事を中心に既存建設事業の生産性・施工能力を高め、受注領域や事業規模の拡大を図る。あわせて、自社の施工現場で培った技術・ノウハウを活かした建設DXシステムの開発・事業化を進め、新たな収益の柱へと成長させる。「自社施工・自社管理による総合施工力の強化」と「現場発の建設DXシステムの事業化」を両輪として、2036年の売上高100億円を実現する。

課題

【人材の確保・育成】 技術者・施工人材の確保と技術継承
【労働環境の改善】 待遇向上・業務負担軽減による働きやすい職場づくり
【施工能力の確保】 人手不足に対応した大規模・多様な工事への施工体制強化
【受注・事業基盤の拡大】 既存取引の拡大・新規顧客開拓による安定受注の確保

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

【総合建設事業の拡大】
自社施工力を活かし、大規模・多様な工事へ展開
【施工の高度化】
ICT・新技術・設備の活用により、生産性と施工能力を強化
【新事業の創出】
現場発の建設DXシステムを実用化し、他の建設事業者等へ展開
【成長基盤の強化】
設備・技術・人材への再投資により、既存事業と新事業を成長

実施体制

【全社一体の推進体制】
経営層と各部門が連携し、100億円達成に向けた取組を推進
【自社現場を活かした技術・事業開発】
現場の課題を新技術・システムの実用化・事業化につなげる
【人材育成・技術継承】
資格取得・リスクリングによる次世代人材の育成と技術継承
【社内外の連携強化】
各工事部門・協力企業・開発パートナーとの連携を強化

（売上高100億円実現の目標と課題）

売上高 100 億円達成に向けた成長イメージ ～共に創る未来のインフラ、技術でつなぐ地域の信頼～

2036年 売上高100億円を達成する。

主力である土木工事を中心とした既存建設事業において、建設DXを推進し、生産性・施工能力を高めることで受注拡大につなげる。
さらに、自社現場で培ったノウハウを活かした建設DXシステムの開発・実証・事業化を進め、既存建設事業に続く新たな収益の柱へ成長させる。

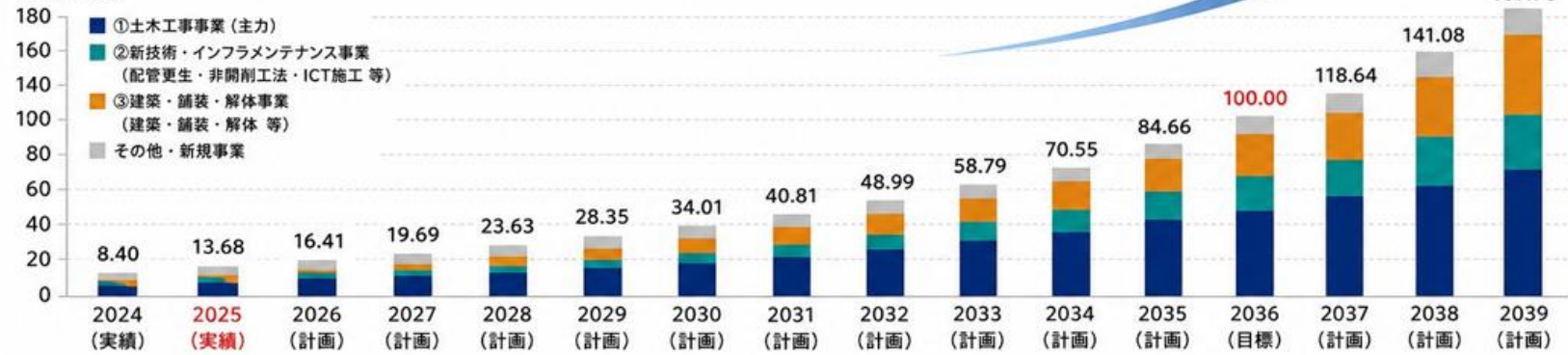
売上高100億円実現に向けた課題

事業拡大に向けた4つの重点課題

- 人材の確保・育成**
技術者・施工人材の確保と若手・次世代人材の育成
- 労働環境の改善**
業務負担の軽減と待遇向上、長く働ける職場環境づくり
- 生産性・施工能力の向上**
省力化・効率化を進め、大規模・多様な工事へ対応
- 受注・事業基盤の拡大**
既存顧客との関係強化と新規開拓、安定受注と新たな事業基盤の構築

2036年
売上高
100億円
達成

（売上高：億円）



【経営・事業統括体制】

代表取締役を中心に、売上高100億円の実現に向けた経営方針・投資計画・事業計画を統括し、各部門が連携して事業の進捗管理と経営判断を行う。

【施工・技術推進体制】

土木工事を主軸に、建築、舗装、解体、配管更生等の各工事部門が連携し、自社施工・自社管理による施工体制を強化する。あわせて、新技術や設備を現場へ導入し、安全性・施工品質・生産性の向上を進める。

【新事業開発・事業化体制】

自社の施工現場を開発・実証の場として、現場の課題やニーズを建設DXシステムの開発に反映する。開発パートナーとも連携し、実用性を高めながら他の建設事業者等への展開・事業化を進める。

【人材育成・連携体制】

技術者・施工人材の確保・育成、資格取得、技術継承やリスキリングを進めるとともに、協力企業や外部パートナーとの連携を強化し、事業拡大を支える体制を構築する。

目指す
成長手段

建設DX・設備投資

ICT施工・新技術・設備導入で生産性と施工能力を向上

既存建設事業の拡大

土木を主軸に受注領域を広げ、大規模・多様な案件へ対応

建設DXシステム事業化

自社現場で開発・実証し、他の建設事業者等へ展開

人材・組織力の強化

施工技術者・DX人材を育成し、持続的な成長を支える

地域社会の安全・安心を支え、信頼されるONLY ONEの建設会社へ